

テーマ別名刺交換会 記録シート

テーマ	在宅介護者（ケアラー）へのケア				
リーダー	小島（守山市社協）				
進行補助	高橋（県社協）	記録	原田（県社協）	参加者数	10名
<p>1. 課題提起されたこと、グループでの意見交換の視点（箇条書き）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護者（ケアラー）の現状とくらしの課題 ・在宅介護者のケアにおいて何が必要なのか ・自分の団体を主体にして他団体とどんなことに取り組んでいくか提案し考えいく 					
<p>2. 参加者の気づき、課題と感じていること（箇条書き）</p> <p><介護当事者（家族の声）></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 民生委員・児童委員が訪問してくれて嬉しかった。→介護者の精神的疲労を緩和させるのは、民生委員・児童委員と地域のチカラが大きい。 ➤ 男性介護者は、男性の特性として男性向けの介護者の集いをして参加する方が少ない。専門職や地域とのつながりがうまく作れないことが多い。 ➤ 身近なところに居場所が増えたらよい。（老々介護においては・・・） ➤ 実父と義父、実母と義母の介護に向き合う気持ちは違う。どう割り切れるか。 ➤ サービス（制度）から説明されると、反論できない。ストレスがたまる。 <p><専門職の声></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 介護保険ができて本人を支援することがより重視されたが、世帯全体が見えにくくなった。 ➤ デイサービスは、日中のサービスなので、帰宅後の状況が気になる。 ➤ 支援者は、介護者の悩みに対して、悩みは一人ひとり様々なのに、総括的に見てしまう。 ➤ 我慢しなさいというアドバイスはできない。他人として、仕事としてなら違う行動ができる。そこを受け止めてどう話すか。 					
<p>3. 現場の課題に対応して、だれと、何を創造実践していきたいか（箇条書き）</p> <p><男性介護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 施設で、男性介護者を対象とした栄養や調理の相談会を開催する。 ➤ 「つどい」の開設地域を増やす。 ➤ 実態を知られていないので、情報を発信する。 <p><老々介護></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 小さい時から、認知症の方と関わる時間をつくる。（小学校の授業等） <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ ラインを開設して24時間相談を受け付ける（始めている）。夜中の相談が多い。 					